

学校だより

学校だより 12月号
令和5年12月1日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

一年の振り返りを

校長 板井 雅春

今年のカレンダーも、いよいよ最後の一枚になりました。年末の慌ただしさと共に、日に日に寒さが身にしみる季節です。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

11月1、2日の学校公開日には、各家庭での人数制限もなくなり、たくさんの皆様にご参観いただきました。子供たちも、おうちの人にがんばりを見せようと、とても積極的でした。1月にも授業参観が予定されています。たくさんの皆様のご来校をお待ちしております。

さて、あと1ヶ月で12月が終わり、新しい年がスタートします。ものごとや人・年・年度の区切りを「節目」といいます。「節目」を大切にしてお祝いして新しい年を迎えて欲しいと思います。

「節」と言えば、「竹」には節があります。まっすぐ空高く伸びる竹は、この「節」があるから成長すると言われていています。竹は「タケノコ」の時に「節」の数が決まっています。節と節の間に成長する細胞があり、どんどん伸びていきます。だから、「節」と「節」の間がどれくらい伸びるかが成長のカギになるというわけです。そして、もう一つ大事なのが、竹の「しなやかさ」「強さ」です。竹の枝や葉っぱには雪が積もっても折れません。元に戻る力があります。その「しなやかな強さ」を作っているのもこの節や空洞だと言われていています。子供たちも、苦しいことやいやなことがあったり、失敗したりして、うつむくことがあるかもしれません。しかしこの竹のように、また起き上がる「しなやかな強さ」をぜひ身に付けてほしいと思います。



本田自動車の創業者、本田宗一郎さんは「企業にも節がある。もうかっている時は、スムーズに伸びていくが、もうからん時が一つの節になる。この節の時期が大切なのだ。」と言っています。この言葉にもあるように「節目」を大切にしたいと思います。「節目」を大事にするということは、この一年、この二学期を振り返り、失敗やもう少しだったことを次に生かすということです。通知表渡して懇談された内容をもとに、ご家庭でも一年の振り返りをしてみてください。そして、来年は竹のようにグーンと伸びる一年にしましょう。

